

はじめに

第2巻まで読み進めると、リーダーシップを身につけることの意味や、リーダーシップを身につけたことでどのような自分になれるかなど、イメージができたことでしょう。そして、「リーダーって、こうすれば良かったのか!」「自分も一度、試しにやってみよう!」と、ワクワクしたり勇気をもらったりした人もいれば、「なんとなくわかったけれど、本当に自分にもリーダーができるのかなあ〜?」「やっぱり自分にはリーダーは無理かな?」など、不安に感じたり自信をなくしたりした人もいるかもしれません。

そこで、第3巻ではリーダーシップを身につける上で、リーダーの立ち振る舞いだけではなく、ぜひ、サブリーダーにも注目してみてください。サブリーダーは、リーダーの補助的な役割をする人です。

「今はまだリーダーをする勇氣はないけれど、サブリーダーならできるかもしれない」と考えてサブリーダーデビューするのもあります。この場合は、リーダーの近くでリーダーの立ち振る舞いを見ながら学んでいくことになります。また、「もっとリーダーシップを磨きたい」と考えてサブリーダーになるのもあります。この場合は、サブリーダーが主体的にリーダーを支えながら、リーダーの相談にのったり、リーダーが気づかなかった点を補ったりしていくことになります。つまりいずれの場合も、自分のリーダーシップを磨く上で、サブリーダーを体験することはとても大切だということです。

立正大学教授・監修
鹿嶋 真弓

もくじ

はじめに	02
「良いチーム」とは、どんなチームかな?	04
エピソード★ やる気がない人がいる	06
やくわりぶんたん めいかく 役割分担を明確にしよう	08
エピソード★ なか わる ひと おな 仲の悪い人と同じチームになった	10
どのメンバーも同じ目標を持つ仲間	12
エピソード★ い けん 意見がまとまらずチームの活動が進まない	14
チームの目標をもう一度確認しよう	16
エピソード★ はんたい い けん 反対意見を出すとケンカになってしまう	18
い けん 意見を出し合うときのルールを決めよう	20
エピソード★ い けん つた ほうほう 意見を伝える方法がわからない	22
スリーステップで意見をまとめて話し合おう	24
エピソード★ リーダーじゃないから出しゃばらない方がいい?	26
メンバー全員でフォローしながら目標に向かおう	28
リーダーシップを発揮できたかチェックしてみよう	30

なか 仲の悪い人と
おな 同じチームに
ひと なった





どのメンバーも 同じ目標を持つ仲間

みなさんは気の合わない人やあまり話したことがない人と同じチームになったことはありますか。あるいは前のページのマンガのように、そのの合わない人同士が同じチームになって不安に思ったことはあるでしょうか。どんな人とチームになってもメンバーの一人ひとりが大切な“仲間”です。チーム全体で協力し合えるふんいきをつくり、同じ目標を持ってみんなで協力し合うことが大切です。

誰とチームになっても、まずはみんなでチームの目標を確認し、次に役割分担を決めましょう。話し合いで意見を出し合うときには、意見を出してくれたことにまず感謝の気持ちを伝えること、相手の意見を否定しないで最後まで意見を聞くこと、などのルールを決めるのも良いでしょう。

同じ目標に向かって一緒に活動することで、あまり話したことがない人と仲良くなれたり、苦手だなと思っていた人の良いところを見つけたりするチャンスも生まれます。グループ活動を通じて、いろいろな人とわかり合うことができるのです。その経験はみなさんが大人になってからも役立ちます。

いろいろな人と知り合う チャンスととらえよう

同じ目標を持つ仲間だと確認するために、次のことをやってみましょう。

みんなで目標を確認する

みんなで目標を確認し、どんなことを達成するためのチームなのかを共有しましょう。それぞれのやりたいことや得意なことに取り組みるように、役割分担も決めておきましょう。そうすることで、それぞれが目標を達成するために必要な仲間であることがわかってきます。

いろいろな人と仲良くなるチャンスと考えよう

グループ活動は、いろいろな人と仲良くなるチャンスです。人はそれぞれアイデアや意見を持っており、そのどれもが、かけがえのないものです。いろいろな意見を聞くことは、相手を知り、自分の意見をより良いものにすることにもつながります。相手のことを理解するチャンスととらえ、まずはどんな意見も受け入れてみましょう。

